

第82回東北地方交通審議会  
船員部会 議事要録

平成27年 8月28日  
東北地方交通審議会  
船員部会事務局

# 東北地方交通審議会

## 第82回船員部会

日 時 平成27年8月28日(金) 15:30~

場 所 仙台第4合同庁舎 4階会議室

出席者 公益委員 : 長谷部部会長、高橋部会長代理、佐々木委員、  
船津委員

労働者委員 : 正路委員、鈴木委員

使用者委員 : 佐藤委員、鶴本委員、湯村委員(欠席)

運輸局 : 菅原海事振興部長、村木海事振興部次長  
峯田船員労働環境・海技資格課長  
鈴木船員労政課長、佐々木労政係長

- 議 題 (1) 船員に関する特定最低賃金の改正に係る諮問について
- (2) 管内の雇用等の状況について
- (3) その他

### 配付資料

- 資料1 船員に関する特定最低賃金の改正に係る諮問関係資料
- 資料2 船員職業安定業務取扱状況説明資料(平成27年6月分)
- 資料3 新規求人・求職数(東北管内:3年対比)
- 資料4 有効求人・求職数(東北管内:3年対比)
- 資料5 新規求人・求職数(全国)
- 資料6 有効求人・求職数(全国)
- 資料7 有効求人倍率(東北管内)
- 資料8 有効求人倍率(全国)
- 資料9 新聞情報

(参考資料) 海事レポート2015

## 議 事 概 要

### ◎開 会

【村木海事振興部次長】

〔第82回船員部会の成立状況について報告〕

〔配付資料確認〕

### ◎議 事

(1) 審議事項 船員に関する特定最低賃金の改正に係る諮問について

【長谷部部会長】

それでは、議事に入りたいと思います。

お手元にあります議事次第の議題(1)審議事項ですが、船員に関する特定最低賃金の改正に係る諮問について、配付資料1のとおり8月12日付で東北運輸局長から東北地方交通審議会会長に対し、最低賃金法第35条第7項の規定に基づき最低賃金の改正に係る諮問がありました。

なお、審議事項につきましては、東北地方交通審議会運営規則第9条により8月20日付で、東北地方交通審議会会長から当船員部会に付託されました。

では、詳細について、海事振興部長から趣旨をご説明いただきたいと思います。よろしくをお願いします。

【菅原海事振興部長】

海事振興部の菅原でございます。

諮問の趣旨でございますが、皆様方にはもう釈迦に説法ではございますけども、最低賃金法の第35条第7項で、まず現行の特定最低賃金につきましては、船員の生計費でございますとか、類似の船員の賃金、また通常の事業の賃金支払い能力を考慮して、必要があると認められた時は、その改正等の決定をすることができるように規定されております。

このような中で、今3つの考慮事項をお話しいたしましたけども、これに関して、運輸局の方で色々諸データ、基礎データの収集に努めましたところ、まず1つ目の船員の生計費の関係では、消費者物価指数がかなり上昇傾向にあると、標準生計費につきましても上昇傾向にあると。

また、2つ目の類似の船員の賃金に関してですが、東北運輸局の隣接運輸局として関東運輸局、あと北海道運輸局、北陸信越運輸局がありますが、諮問済みのところ、また今後諮問予定とかこういった状況にあります。

また3つ目の通常の事業の賃金支払い能力に関しては、管内の各事業部門の皆様の事業収支が改善傾向にあるというようなこともありますし、漁業関係でもそれぞれの水揚げにつきましては堅調に推移している状況にあると。

その他、政府の景気の判断といいますか、分析といいますか、あと一般産業の最低賃金、それらを勘案しましたところ、特定最低賃金の改正につきまして、皆様のご意見を伺う環境が概ね整っているのではないかと判断いたしまして、昨年度に引き続き、4業種全てについて、先般正式に諮問するに至ったところでございます。

今後、この船員部会の下に専門部会を設けまして、具体的な調査・審議を行って

いただくということになる訳ですが、最終的にはこの部会に、専門部会で調査・審議された結果が上がってくる訳でございますが、皆さんはその段階でまた審議いただくということになりますので、今後よろしくお願ひしたいと思います。以上でございます。

【長谷部部会長】

どうもありがとうございました。何かご質問等ございましたら。

よろしいですか。それでは、諮問をお受けいたしまして、船員部会運営規則第6条の規定により、最低賃金専門部会4業種を設置するということで進めたいと思います。

では、続きまして、事務局の方から資料の船員の特定賃金の改正に関して、関係船員及び関係使用者の意見聴取に関する公示案及び船員の特定最低賃金の改正に関する諮問状況について説明方よろしくお願ひします。

〔鈴木船員労政課長より資料1-1~4に基づき説明〕

【長谷部部会長】

どうもありがとうございます。ただいまの説明につきまして、何かご意見、ご質問等ございましたら…。

中央の方の遠洋まぐろについては、業種の拡大ということでしょうか。

【鈴木船員労政課長】

漁業について、現在中央段階では遠洋まぐろと大型いか釣りの2業種について最低賃金の設定をしています。今この2業種しかないんですけども、この2業種から拡大するというのを、小委員会を設けて、昨日まで3回の小委員会が開催され、昨日拡大する方向、何業種か追加という方向で取りまとめされたというように聞いております。

【長谷部部会長】

どんなものが入ってくるんですか。

【鈴木船員労政課長】

正式に文書は来ていませんが、まぐろ関係について、今遠洋まぐろ1業種なんですけど、これに加えて遠洋かつおと近海まぐろと近海かつお、大型いかについてはその通りということで、今遠洋まぐろという業種の名称を漁業（かつお・まぐろ）という業種にするという予定だと聞いておりますので、遠洋まぐろと遠洋かつお、近海まぐろ、近海かつおが同じ金額の設定に、中で分けるかもしれませんが、同じ金額にするのか、業種毎にちょっと差をつけるのか、その辺は最低賃金の審議状況だと思いますが、まぐろとかつおについて最低賃金を設定するという流れです。

【長谷部部会長】

これまでは無かったんですか。

【鈴木船員労政課長】

今までは遠洋まぐろと大型いか釣りだけで、これに加えて、遠洋かつおと近海かつおと近海まぐろの3業種追加するということですね。

【長谷部部会長】

それは、どのように受けとめたらいいんですか。これまでどうだったのをどうするとか。

【鈴木船員労政課長】

従来から、漁業につきましては色々な業種、かつお、まぐろの外にも、中型いかとか色々あるんですけど、周年操業の業種であって、ある程度安定している業種について、業種拡大をして下さいという労働者側の方の要望が従来からあって、それをずっと労使の意見が調整つかなかったんですが、今回3業種について話し合いのテーブルにつくという合意がなされて、テーブルについて、3業種追加という流れができたといったところです。

【長谷部部会長】

労働者側の方から何か。

【鈴木労働者委員】

今言った通りなんです。何年も前から…。

【長谷部部会長】

闘争勝利ですか。

【鈴木労働者委員】

まあ勝利ということじゃないんですけど、本来世界的なILO、ILOには漁業種全部に最賃があるという報告をしているそうです、日本の方では。

ところが、今まではずっと無かったんです。あったのはその4業種だけで、じゃ、今までどんな報告していたのかというと、労使の話ができなくて最賃が無いみたいな報告をしていたらしいです。

それを、そうではないでしょうということで、国交省に申し入れて何年も経つんですが、やっと去年の暮れごろ、秋口から始まって、2回か3回の間に決めましょうということで、3回目で大体決まって、今言ったように遠洋まぐろと近海まぐろを同じ賃金にできないから、金額が大きいので、将来的には一緒にしたいというのがうちの考えなんですけど、そうもいかないだろうということで、遠洋まぐろと遠洋かつお、近海まぐろと近海かつおが、多分同じような最賃になるのかなという話は聞いています。

あとは、もう1業種、今言った中型いか釣りにも最賃がないので、この先何年になるか分らないんですが、最賃を何か決めていきたいというような話はしているみたいです。

【長谷部部会長】

全体として私は分かりました。

知らなかったものですから、勉強不足でした。ありがとうございます。

他に何かございますか。

【鶴本使用者委員】

委員はどういう方が出ているんですか。

【鈴木労働者委員】

大水、近かつ、あと、かつお船の方はどこか出ているのかな。

【鶴本使用者委員】

日かつだね。

【鈴木労働者委員】

ああ、日かつもか。

全近かつと、全日海、国交省、水産庁といいましたか。

【鈴木船員労政課長】

下準備の方ですね。

【鈴木労働者委員】

もうやっていたんですが、その中で、逆に船主さんの方から声がかかったのが、遠洋かつお、近海かつおだったらしいです。私らも入れてくれみたいな話だったようです。その3業種が決まったんでしょうね。

【鈴木船員労政課長】

その流れ、昨日まで小委員会の取りまとめが終った段階なので、小委員会から、今度中央段階の船員部会に報告が行って、船員部会から海事分科会に報告、海事分科会から交通政策審議会に行って、交通政策審議会議長が国土交通大臣に答申という流れなので、まだ5段階ぐらい流れはあるんですが、昨日取りまとめがあったので、あとは大体順番に手順を踏んで、5段階ぐらいあるので時間がかかって、9月ぐらいに答申があって、それで、まず拡大が決まって、その後、今年度の最低賃金の諮問について、また出すんですかね。

【鈴木労働者委員】

その諮問というのは、中央でということなんでしょうね。

【鈴木船員労政課長】

はい。今回の拡大は、中央部分だけなので…。

【長谷部部会長】

はい、よろしいでしょうか。

それでは、他になければ一括してご了解いただいたということで進めさせていただきたいと思います。どうもありがとうございます。

では、続きまして、専門部会委員の任命と今後のスケジュールについて事務局の方からお願いいたします。

〔村木海事振興部次長より資料1～5に基づき説明〕

【長谷部部会長】

ありがとうございます。何かご意見、ご質問等、よろしいでしょうか。

11月から、ちょっと忙しくなるということですね。

何もなければ、ご了解いただいたということで先へ進めたいと思います。

(2) 管内の雇用等の状況について

【長谷部部会長】

それでは、いつものように議事次第の議題の(2)管内の雇用等の状況について、事務局の方から報告をお願いします。

〔鈴木船員労政課長より資料2～8に基づき報告〕

【長谷部部会長】

ありがとうございます。何かご意見、ご質問等ございましたら…。

6月までのGDPとの相関があるかどうかはよく分からない。どっちに行くかがよく分からないですね、この業種は。

【鶴本使用者委員】

鈴木課長、ちょっと資料8、7もだけれども、これは漁船も商船も合わせてですか。

【鈴木船員労政課長】

資料7と8、どちらも商船、漁船を合算した数字です。

【長谷部部会長】

よろしいですか。（「はい」の声あり）

では、このまま様子見ましょうということで、これを前提としながら一連の声かけの作業を進めていただきたいと思います。

それでは、ご了解、ご了承いただいたということで、次に情報提供ということで、情報交換をしたいと思います。

(3) その他

【長谷部部会長】

労働者委員の方から何かございますか、正路委員。

【正路労働者委員】

数ヶ月に1回なんですけど、来月も15日から17日までFOC・POCキャンペーンを石巻、塩釜、仙台、秋田、酒田港を拠点に開催したいと思っております。前回は7月7日からやりますという話をしたと思うんですが、その結果、7月7日から9日までの3日間で、6隻の船舶を査察しました。

その内容については、問題ある船はございませんでした。

それで、今度また、9月にやりますよという話でございます。

それと、もう一つ、新聞情報の21ページにもございますが、実はサンマ船、小名浜港で久方ぶりにというか、新聞には初の試みというように書いてありますが、以前、昭和のときに、母船式サケマスが全盛の頃は、一斉に出漁したというのはあったんですけど、それ以来、平成に入って初めてサンマ船が一斉に小名浜港を出港したということです。

家族だけではなく、中には観光客も見送りを見てくれたのかなという感じで、人は随分集まりました。

それで、少しでも海に目を向けて、船の仕事にということになればというのが、ちょっとした下心ありの話でございます。以上です。

あと、サンマの状況については、鶴本委員からお願いします。

【長谷部部会長】

続けてしていただけますか、鶴本委員。

【鶴本使用者委員】

正路委員から要請ありましたので…。

さっき入るなり「顔色いいね」なんて言われて、いや大変ありがたいことなんだけれども、実はそうではなくて、ちょっと顔面蒼白なことがあったので、それらを踏まえて、ちょっとお話ししたい思います。

今年が一番の懸念された材料というのは、ロシアの監視体制、何か色々な方面から新しく大きな船を欲しがっていると、拿捕して自分のものにしたいと。そうい

う話だったり、あとタラ縄なども大分規制が厳しくて思うような操業ができなかった。そして、小型サケマス船が拿捕されて6億だかの罰金請求されているとかいう話が、定かではないですけどもあったりしました。

それから、気仙沼さんま地区組合の組合員なんですが、A丸さんが択捉に連行されて、19トンの船なんですけども、罰金を科されて解放になったということがありました。

それ以降、皆さん、大型船も8月20日に解禁になりまして出港されたんですが、皆さん慎重に慎重を重ねているようで、今のところトラブルとか問題になるようなことはないの、ロシア正規の200海里内の操業が平穩に進んでくれればなと思っています。

思ったよりは何とかやれるんじゃないかなと思いますけども、今後何もなければいいなとそれだけを願っています。

#### 【正路労働者委員】

電話来るとヒヤッとします。夜中に鳴ると。

#### 【佐藤使用者委員】

魚価が上がればいいの。

#### 【鶴本使用者委員】

そうですね。でも魚価についても今ちょっとお話ししますけど、量については鈴木委員なんかはご存じ、正路委員もご存じだと思うんですが、壺形なんですって、魚が1ヶ所に固まって。

そこに当たった船はいいんだけども、その他は薄いようで、1~2トンの船なんかもあるんですね、一晩やって。

だから、量的には、まだら模様というかそんな感じです。

それから、その外側の公海で、外国船が1,000トンクラスの船を持ってきてやっているんですけど、沖からの情報によると、その人たちも余りいい漁をしてない。ということは、これからどんどんサンマが日本近海に寄ってくる訳ですが、今、沖の魚の群れが薄いということは、余りいい量にならないのかなという心配をしております。沖の漁がですね。

予報通り8月は低調に終って、9月中頃からは、量が上向くんじゃないかなと、それに期待をしています。

相場についてなんですけども、これは世界同時株安に合わせた訳ではないんですが、乱高下がありまして、22日に大型船の初水揚げが花咲であったんですけど、その時は500円位だった。

それで、24日の道東の値段は2,400トンも揚がったので、そのせいもあってか200円から100円を割った船もあったそうです。

止め止め止めのサンマで、鮮度がちょっと落ちたような、それにしてもちょっと安い。24日の日、気仙沼で初めての水揚げがあったので、ご祝儀相場もあって600円になったんです。当社の船も25日に入ったんですが、何と半分以下の値段で、捕らぬ狸をやっちゃって、顔面それこそ蒼白、頭真っ白になってしまって、300円以上の開きありましたら、1,500万円以上違ったんでないかな。

そういうようなことで、今日あたりは300円から200円位、買人の方も、ま



だ本格的に参入していない部分もあるんですよ。9月になれば何とか出そろわないかなと、そういうように期待しているところです。

今年のサンマは脂が乗って、それから言わせる人に言わせれば、甘みもあるとかということで、皆さん、いっぱい食べていただきたい。

【長谷部部会長】

ありがとうございました。じゃ、9月に期待して。

他にございますか。佐藤委員。

【佐藤使用者委員】

旅客船業界で今度、来年度の税制、或いは要望等、たくさんあって、今度海事局に提出したところでございますけれども、やはり離島航路の補助金をなるべく上げてほしいという要望。それから、そういうのもあって、今度海事局長が、宮古出身の方なんです。新しく替ったんだそうですけど、それで私ら来月中旬に海事局の幹部と懇談会をやる予定で、それも踏まえて、できるだけ要望を聞いていただくように、今鋭意努力しているところであります。

それから、原油安、新聞紙上でも出ていますが、昨年と同じ時期から比べて約30%燃料費が減少している。漁船も同じですけど、全体がそういう状況になって、経営とすれば大変いい状況かなと思っています。

【鶴本使用者委員】

何だか、今日原油が上がったと言っていましたよね。

【佐藤使用者委員】

そうですか。

【鈴木労働者委員】

でも、来月1日からまた若干下がると、重油ですか、A重油が下がると言っていましたね。

【佐藤使用者委員】

うちの方では、来月1日から値下げ…。

【鈴木労働者委員】

私も、値下げすると聞いていました。

【佐藤使用者委員】

5%位の値下げと聞いていますけどもね。

【長谷部部会長】

原油市場は、すごい下げ、下げ。

【佐藤使用者委員】

そうですね。

【鈴木労働者委員】

原油が40を割ったんでしょう、40ドル。

【佐藤使用者委員】

WTIで39.6ドル位かな。これからイランが参入してくると、またもうちょっと下がるかな。

【鶴本使用者委員】

何があるの。

【佐藤使用者委員】

イランは経済封鎖されているからね。

【長谷部部会長】

関わりますよね。ということで、最賃部会の方にも影響してくる話になるかもしれません。

この説明はいいですか。

【村木海事振興部次長】

先月の部会で、お話がありまして、それで、全日海さんで船員にアンケートをとられたということで、その記事と前回の新聞記事も必要だということで裏面に付けさせていただきました。

【長谷部部会長】

ということで、情報提供だそうです。全体として今日は緊張が余りない話で良かったと思っています。情報交換は、このくらいでよろしいでしょうか。どうもありがとうございました。

それでは、本日の議事は終了とさせていただきますと思います。

次回の船員部会は9月25日の金曜日の午後3時30分からとなります。会場はここ4階会議室で開催となります。

◎閉 会